

春の叙勲 県関係は70人

2026年春の叙勲で、県内在住か県内に本籍のある受章者は計70人（男性65人、女性5人）。県内在住は53人（男性50人、女性3人）、県外在住で県内に本籍がある人は17人（男性15人、女性2人）だった。

顕著な功績を挙げた人が対象の旭日章は計11人、公共的な業務に長年従事して功労を重ねた人が対象の瑞宝章は計59人だった。

瑞宝中綬章は、信州大名誉教授で松本市の城西病院長などを歴任した清沢研道さん

章。旭日小綬章は元伊那市議の赤沼利光さん(84) 伊那市 瑞宝小綬章は元県諏訪地方事務所長の池田秀政さん(73) 長野市 旭日双光章は10人、瑞宝双光章は26人、瑞宝単光章は9人だった。

この他、オーストラリア国籍で元在日豪州・ニュージールランド商工会議所会頭のメラニー・ブロックさん(62) 南佐久郡南牧村 旭日中綬章を、松本市出身で放送大名誉教授の宮本みち子さん(78) 千葉市 瑞宝中綬章を受章した。